

神々の国しまね 就農体験ツアー

8月4日～6日にかけて、島根県の主催により『神々の国しまね就農体験ツアー』が開催されました。

毎年、関東、関西、中京などで全国新規就農相談センターが開催している新・農業人フェアにて「島根での就農体験」の募集を行い、関東や関西から総勢22名の参加がありました。このうち6名（関東3名、関西3名）が、大田市での就農体験を希望され、受け入れを行いました。

就農の情報収集

8月4日、昼過ぎに大田市波根町の県立農林大学校に到着。

長時間のバスの疲れも見せず、早速、参加者は希望する農業についての情報を収集。県内各市町村の担当者が待つブースを訪れていました。

事前にインターネットなどで得た情報をもとに、これまでの新規就農状況や農業に対する支援対策など、熱心に担当者から話を聞いていました。

このツアーの目玉企画で



▲大田市ブースでの説明風景

もあつた就農希望者や市町村担当者などの意見交換の懇親会では、農業談義に花が咲いていました。

ちょうどこの日は久手町の花火大会。農林大学校からも少しだけ花火の音と光を楽しむことができました。

大田市での就農体験

8月5日、それぞれ希望の市町村に分かれ、就農体験が始まりました。

大田市での就農体験は、メロンと西条柿の生産者で構成されている『温泉津町特産物促進協議会』を中心に行われました。この協議会は、担い手不足による栽培面積の減少に悩んでおり、新規の担い手の確保に繋がればと受け入れを行っていただきました。

まず講習会

まずは地域の状況や気象条件、農産物について市農林水産課中村課長補佐が説明し、この地域への知識を深めていただきました。続いて、温泉津町特産のメロン栽培技術に

ついて、島根県西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所^{（株）}主任農業普及員より説明があり、参加者は興味深く聞き入っていました。

参加者は全員が農業の初心者。基本的な農機具である刈払機の取り扱い方法について、石見銀山農業協同組合農業機械課竹内職員から指導していただきました。

美味しい地元食材を使った昼食の後は、地元農業者との意見交換会です。

就農体験参加者は、「農業の収入はどれほどになるのか」「移住した場合の住居はどうすれば良いか」など率



▲初めての刈払機体験中！

直に質問していました。また、メロン栽培の秘訣や、苦労話など熱心に尋ねていました。Uターン経験のある生産者もおられ、自分の体験を交えながら答えておられました。

いざ現地体験

次は現地での体験です。温泉津町湯里地区の柿畑の草刈り体験にチャレンジ。

初めての刈払機体験はおっかなびっくり。猛暑の中、汗まみれになりながら機械を操作していました。

この日の締めくくりは、地元農業関係団体との歓迎会。参加者は膝を突き合わせて地元生産者と交流し、とても盛り上がりました。

ちょうどこの日も、ゆのつ温泉夏祭り。グルメ横丁と題した出店がたくさんあり、この地域の味力(魅力)



▲熱い想いのぎっしり詰まった歓迎会

を堪能していました。また、目の前で打ち上がる花火にも見入っていました。

体験最終日

最終日は、温泉津町井田地区のメロンハウスで栽培についての農業体験。初めに、この地区にある集出荷施設で、メロンの出荷作業を見学しました。

機械で自動的に行われる選別作業に参加者は、びっ

くりしていました。

次に、メロンの育苗ハウスで、抑制栽培(秋にメロンを収穫する栽培方法)について地元生産者より説明を受けました。参加者は、暑さが増すハウスの中で栽培のポイントについて真剣に聞き取りをしていました。

同じハウスではトマトも栽培されており、採りたての美味しいトマト

◀とっても暑いハウスの中でも就農希望者は真剣そのもの



を試食させていただきました。

その後は近くの放牧場も見学。ここでは、まず和牛の大きさにびっくりし、ゆつたりとした自然の中で放牧されている環境を見てまたびっくり。また、ハウスの近くに積み上げてある堆肥が「宝の山」との地元生産者の言葉にまたまたびっくり。大田の農業を肌で感じる体験ができたようです。

なお、この地域は県内多数の和牛の産地でもあります。今年10月開催の「第10回全国和牛能力共進会(和



牛のオリンピック)に出場しました。

現在、このツアーに参加された2名が9月から産業体験に取り組み、メロン農家を目指し、研修を行っています。

温泉津町特産物促進協議会は、体験から研修、就業までの一貫した体制づくりに取り組んでいます。

今後このような取り組みに積極的に参加しながら、担い手不足の問題解決を目指しています。

【参加者の感想】

- ・メロンのトコ箱栽培(少量土壌培地耕)のシステムを見て、ハウス内がすごきれいで驚いた。
- ・ハウス内はサウナのようでも暑かった。
- ・農家の人の苦労や大変さがわかった。
- ・トコ箱栽培でメロンを作ってみたいと思った。

お手伝いします！

大田市農業担い手支援センターでは、農業体験者、新規就農者の相談とさまざまな支援を行っています。

大田市で農業をやりたい！とお考えの方は、ぜひ、大田市農業担い手支援センター(☎0854-821600)までご連絡ください。

あなたが希望している農業が見つかるかもしれません。